

ヒッサツ[®] フロアブル

速く、鋭く、抜かりなく。



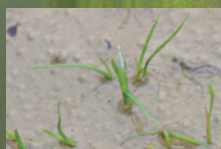
本剤は(公財)日本植物調節剤研究協会
でのA-1S区分:難防除雑草一発処理
(クログワイ)で判定を取得しています。

- ホタルイに対する効果をさらに強化
- SU抵抗性雑草や多年生雑草に対する高い効果

ノビエ・ホタルイ・クログワイ*・コナギ・ミズアオイ等への鋭い効果



ノビエ



ホタルイ



クログワイ



コナギ



ミズアオイ

*移植水稲



ヒツサツ[®]フロアブル



- ホタルイに対する効果をさらに強化
- SU抵抗性雑草や多年生雑草に対する高い効果

【有効成分】イマズスルフロン…1.6% ピラクロニル…3.6% プロモブチド…27.0%

除草剤分類 2, 14, 30

適用と使用方法

農林水産省登録 第24810号

主要雑草に対する使用適期

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	ホタルイ ヘラオモダカ ウリカワ	2葉期まで
移植水稲	一年生雑草 及び マツバイ、ホタルイ、 ヘラオモダカ、ミズガヤツリ、 ウリカワ、クログワイ、 シズイ、ヒルムシロ、セリ、 アオミドロ・藻類による 表層はく離	移植直後～ ノビエ2.5葉期 ただし、 移植後30日まで	500mL /10a	1回	原液 湛水散布	ミズガヤツリ	草丈15cm 以下まで
直播水稲	一年生雑草 及び ホタルイ、ヘラオモダカ、 ミズガヤツリ、ウリカワ、 ヒルムシロ、セリ、 アオミドロ・藻類による 表層はく離	稲1葉期～ ノビエ2.5葉期 ただし、 収穫90日前まで				ヒルムシロ セリ	発生期まで
						クログワイ	発生始期まで
						シズイ	草丈3cmまで
						アオミドロ・ 藻類による 表層はく離	発生前まで

イマズスルフロンを含む農薬の総使用回数

2回以内

ピラクロニルを含む農薬の総使用回数

2回以内

プロモブチドを含む農薬の総使用回数

2回以内

上記の内容はすべて2024年9月現在の登録内容

上手な使い方 [散布量 / 10a当り500mL (1本)]

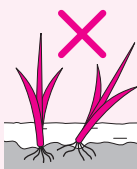
均平化作業・植付けはていねいに!

田面が凹凸していると薬剤が均一に広がらず、効果不良・葉害の原因になることがあります。



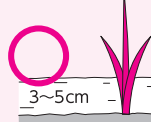
移植深度は適正に!

極端な浅植では根が露出し葉害原因となります。根が土壌中に隠れるよう、適正な移植深度に田植機を設定してください。



散布時の注意!

散布の際は、水の出入りを止めて湛水状態(水深3～5cm)で散布してください。また、極端な浅水や深水での使用はさけてください。



散布後の注意!

散布3～4日間はそのまま湛水を保ち、田面を露出させないようにし、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かに行ってください。



使用上の注意事項

- 使用量に合わせ秤量し、使いきってください。
- 使用前に容器をよく振ってください。
- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの2.5葉期までに、時期を失しないように散布してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に散布してください。
- 散布の際は、水の出入りを止めて湛水状態(水深3～5cm)で、まきむらが生じないように均一に散布してください。また、極端な浅水や深水での使用はさけてください。
- 散布後3～4日間はそのまま湛水を保ち、田面を露出させないようにし、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かに行ってください。
- 浅植え、浮き苗が生じないように、代かき、均平化及び植付作業はていねいに行ってください。未熟有機物を施用した場合は、特にていねいに行ってください。
- 以下のような条件下では葉害が発生するおそれがあるので使用をさけてください。
 - ① 砂質土壌の水田および漏水の大きな水田(減水深が2cm/日以上)
 - ② 軟弱な苗を移植した水田
 - ③ 極端な浅植えの水田
- 稲の根が露出する条件では葉害を生じるおそれがあるので使用しないでください。

- 著しい多雨条件では除草効果が低下する場合があるので使用はさけてください。
- 田植前に生育したミズガヤツリは、完全に防除してから使用してください。
- 散布田の田面水を他の作物に灌水しないでください。
- 本剤はその殺草特性から、いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これら作物の生育期に隣接田で使用する場合には十分に注意してください。
- いぐさ栽培予定水田では使用しないでください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合や異常気象の場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 水産動植物(藻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 散布後は水管理に注意してください。
- 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温場所に密栓して保管してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●小児の手の届く所には置かないでください。 ●空袋・空容器は圃場等に放置せず適切に処理してください。

06R9124H31:J2

2024年9月作成

農薬・肥料に関する
総合情報サイト【i-農力】や
各種SNSはこちら



住友化学

〒103-6020 東京都中央区日本橋2丁目7番1号